

【総合的な学習の時間 学習指導案】

指導者 野上哲男 新谷修平 出木谷富美 平田涼花 藤屋昌駿 杉山佳子

日時：令和4年12月7日（水） 第5校時（13：20～14：10）

場所：体育館

学年：第2学年（男子54名，女子56名 計110名）

単元名：自分再発見

何ができるようになるか

○単元の目標

- (1) 長崎修学旅行に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、探究的な学習の良さを理解する。
- (2) 長崎修学旅行に関わる中から、課題を見だし、その解決に向けて情報を基に整理分析し、まとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 長崎修学旅行に関する探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら自分の生き方を考え、地域のために積極的に参画しようとする。

何が身に付いたか

○評価規準

【知識・技能】

- (1) 長崎修学旅行に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、探究的な学習の良さを理解している。
- 【思考力・判断力・表現力】
- (2) 長崎修学旅行に関わる中から、課題を見だし、その解決に向けて情報を基に整理分析し、まとめ・表現する力を身に付けている。
- 【主体性、協働する力】
- (3) 長崎修学旅行に関する探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら自分の生き方を考え、地域のために積極的に参画しようとしている。

生徒観

- (1) 多くの児童は、長崎に関心を持ち、昨年度からの探究学習に意欲的に取り組む素地ができているが、今回は自分の生き方につなげていくことが大きな課題である。
- (2) 情報収集に意欲的な生徒は多いが、得た情報を比較分析して、自分の意見や考えを持ちそれを分かりやすく説明しようとする生徒は、77.5%にとどまっている。
- (3) 自分の将来に夢や希望を持っている生徒はキャリアスタートウィークを通して増え、77.5%であるが、さらに長崎の学習を通して、自分の生き方を考えるきっかけにしていく。

生徒をどのように支援するか

○生徒への支援

自由進度学習

- ・自由進度学習を取り入れることで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。

体験的な学習

- ・修学旅行の様々な体験を通して、五感を使って学び、自己の生き方について考える。

目指す子どもの姿

- ・一人一人が自律した学び手になる。
- ・探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質や能力を身につけている。
- ・探究学習を通して、学校評価アンケートの目標値を超える。

カリキュラム・マネジメント ○指導体制の充実

- ・「自由進度学習の手引き」 各教科の学習内容を考えるきっかけにできるようなアイデアを提示する
- ・学習の進捗状況に応じて、必要な情報収集や、外部との連携を常時行う

○ 単元と評価の計画

次	時	知	思	主	学習内容
一	4時間	○	○	○	【事前学習】自分再発見プロジェクト～みんなちがってみんないい～ ・学習の見通しを持つ（本時） ・それぞれが自分のテーマに沿って自由進度学習を行う。
二	4時間	○	○	○	【修学旅行】 ・事前学習を踏まえて、実際に見たり、聴いたり、味わったりしながら、五感を使って、学習を深める。
三	6時間	○			【事後学習】 ・これまでの学習をふり返り、その成果を発表したり、行動したりする。

○ 本時の目標

主体性・協働性を高めるために、自分で考えて行動する自由進度学習に自立した学習を進めていく意欲を高める。

○ 本時の学習展開

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) と評価規準 (※) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。	◇ 昨年度の学習を振り返り、探究学習のよさを確認する。 【めあて】自分再発見プロジェクトを通して、自立した探究学習をスタートしよう
整理・分析	2 個人・グループで自由進度学習を開始する。	◇ 自由進度学習の手引きを用いて、自分がこれから学習を進めていきたいテーマ設定について、きっかけづくりの支援をする。 ◇ 「My 学習計画表」に記入して、見通しを持って学習が進められるように声かけをする。 ◆ テーマ設定に悩んでいる生徒に、必要に応じて手引きを使ってアイデアを提示する。 【発問】 自由進度学習とは、自分のペースで進めていく学習のことです。「自由進度学習の手引き」には具体的な学習活動がのっているから、手引きを参考にしながら学習をスタートさせましょう！ あなたが自分の生き方につなげていけそうなテーマは何だと思えますか？
	3 全体で今日の学習がどのように進んでいったか確認をする。	◇ 生徒たちから出た学習の流れを共有した上で、自分事として考えさせるために、切り返しの発問をする。 ◇ 次へどのような学習をすすめていけばよいか、他の生徒の発言と比較しながら考えるよう促す。
振り返り	4 本時を振り返り、次時以降(第2次)の学習に向けて課題意識をもつ。	◇ 「My 学習計画表」に、新たに発見した事実やさらに探究してみたいと思ったことを書くよう指示する。 【振り返りの例】 グラバー園に行きたいと思い、興味を持ってその歴史や外国とのつながりを調べ始めたが、グラバーの奥さんが音楽で学習した蝶々夫人だとわかった。蝶々夫人の生き方についても次回から探究していきたいと思う。